

2000年、NGO・経済界・政府が対等なパートナーシップのもとに三位一体となり、それぞれのリソースをもちより、国内外の様々な人道危機に対して迅速かつ効果的に活動するための、日本の緊急人道支援のしくみとして発足しました。

2014年5月現在、47の加盟NGOとともに情報共有をしながら包括的に支援を実施しています。設立時より、総額280億円／860事業／40以上の国と地域を対象に、人道支援活動を展開してきました。



JPF シリア紛争人道支援 実施プロジェクトと裨益者数

JPF全体で総額18億円、約37万人の難民・国内避難民を支援

トルコ

715,306人

(UNHCR, April 20, 2014)

裨益者数：3.5万人

支援団体：AAR

支援分野：食糧、ノン・フード、
教育、障がい者支援、
保護 (Protection)

レバノン

1,024,063人

(UNHCR, April 16, 2014)

裨益者数：2.9万人

支援団体：SCJ・CCP

支援分野：食糧、ノン・フード、
教育、子どもの保護、
生計支援

シリア

裨益者数：4.3万人

支援団体：SCJ

支援分野：ノン・フード、
保護 (Protection)

国内避難民 約650万人

(シリア国内で避難生活をしている人)

難民 約270万人

(シリア周辺国で避難生活をしている人)

イラク

219,579人

(UNHCR, March 30, 2014)

裨益者数：約 100,000人

支援団体：PWJ, IVY

支援分野：食糧、ノン・フード、教育、水衛生

ヨルダン

589,792人

(UNHCR, April 10, 2014)

裨益者数：15.7万人

支援団体：JARC, JEN, NICCO, KnK, WP, WVJ

支援分野：食糧、ノン・フード、教育、子どもの保護、
心理社会的サポート、水衛生

エジプト
および

北アフリカ

156,072人

(UNHCR, April 20, 2014)

データ出典：UN OCHA, UNHCR (2014年4月20日)